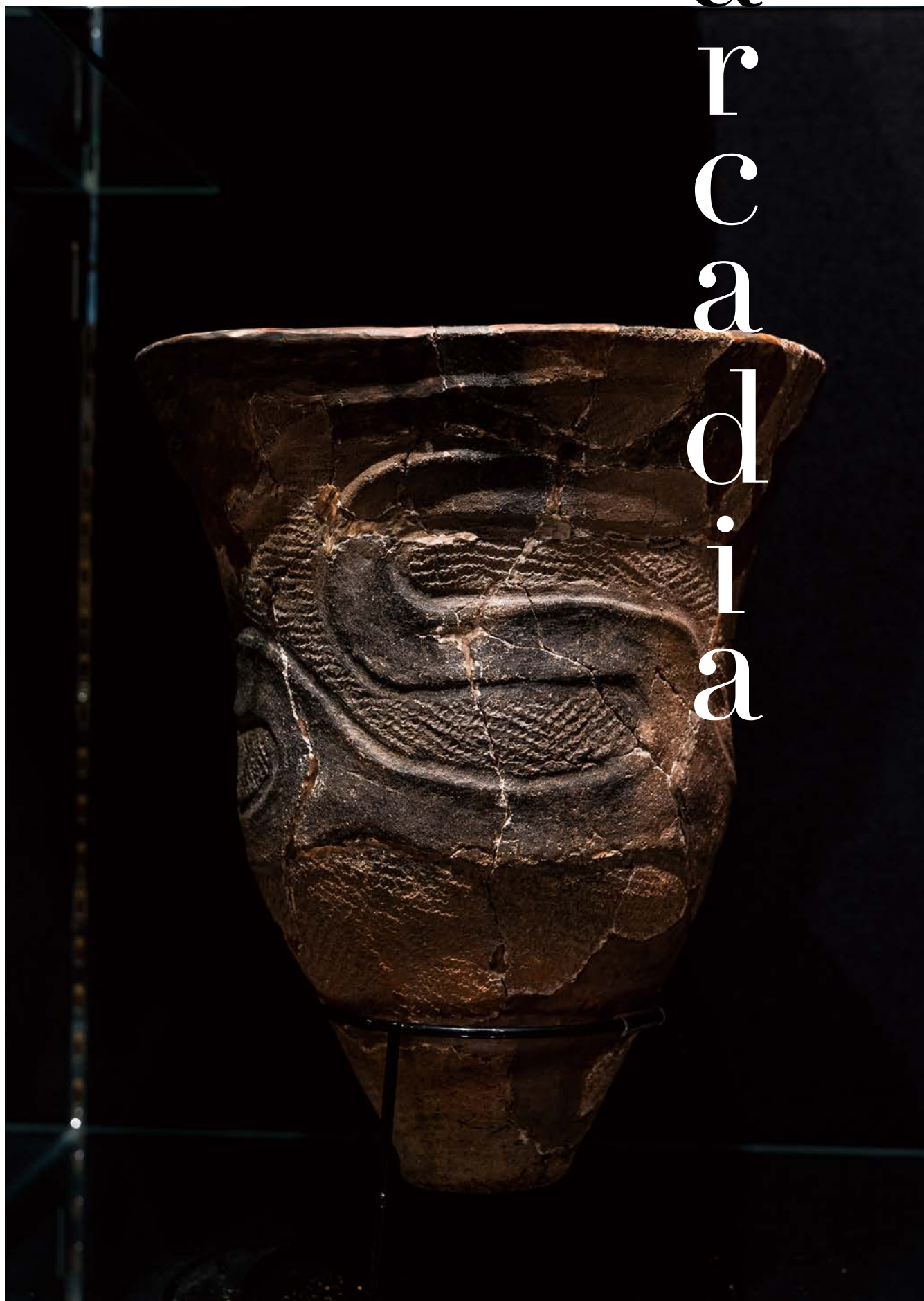


# a r c a d i a





# 縄文

JO MON

BC16,000 ~~~~~ BC3,000

JOMON PERIOD

置賜の  
深淵  
古代の記憶

暑い日が続き、アルカディアの地がキラキラと太陽に照らされています。

長井市の古代の丘資料館では、以前から勾玉づくり体験や火起こし体験など、縄文時代を感じられる様々な体験ができる場所として親しまれてきました。

資料館を初めて訪れた際は、資料館の中に突然現れる「タイムトンネル」のリアルさに、本当にタイムスリップするのではないかとドキドキしたのを覚えています。観光局では、縄文風衣装を準備し、より縄文気分を味わいながら勾玉づくり体験や火起こし体験ができるプランを販売しています。

今回のプランを作るにあたり、縄文文化を知ろうと様々な記事を見ましたが、まだまだ知られていないことも多く、奥が深そうだと感じたところでした。ただ「不思議なフォルムとおもしろいポーズをしているな」と思っていた土偶にも、そこに込められた想いが様々あります。

子どもが無事に生まれますように、家族が健康で過ごせますように、亡くなった魂が再生してまた戻ってきますように。

いつの時代にも先の見えない恐怖があり、だけど希望があり、家族の無事を願う人がいる。

アルカディアに生きる人の心の根元は、今も昔も変わっていないのかもしれませんが、少しずつ縄文文化を身近に感じてきた、今日この頃です。

季刊誌「arcadia」編集部

## CONTENTS

### 04 特集1 縄文

縄文にみる置賜地域の  
思想と信念を探る

### 12 食・人・自然の魅力を 全国の人に届けたい

やまがたアルカディア観光局

### 14 特集2 大宮子易両神社

大宮子易両神社  
宮司 遠藤 成晃

### 16 縄文と祈りの文化

縄文文化の体験施設と  
神社に伝わる風習を紹介

### 18 2市3町フォトスポットマップ

ファインダー越しに見る  
東洋のアルカディア

## Cover STORY

自由の中に秩序を見る縄文土器という存在は、社会の中で自由を獲得しようともがく私たちと、重なるように見える。しかしその裏、家族などの小さなコミュニティが、適宜結合し社会となるそれと、常識的な社会の中で形成せざるを得ない、コミュニティをは全く異なるものだと感じる。梓の外を自由と言うのか、はたまた。





# 縄文にみる 置賜地域の 思想と信念



## 置賜に残る、縄文時代の遺構

飯豊町萩生地区、県道10号線沿いの田んぼの中に1棟の竪穴住居を見ることが出来る。周辺にそれ以外の遺構はなく、そこだけばかりと縄文時代の空気を宿した佇まいは、そのまま通り過ぎるには気にかかるような存在感である。この萩生石箱遺跡は、1972（昭和47）年の発掘調査により発見された縄文中期の遺跡で、竪穴住居跡と炉跡、数種の土器が出土している。町の指定文化財で1986（昭和61）年に遺跡保存会により2棟の竪穴住居が復元されたが、現在は老朽化により、2010（平成22）年に再復元された1棟のみ残っている。昭和40年代は高度経済成長により全国的に大規模な開発が行われた時期で、各地で遺跡発見と発掘調査が相次いだ。置賜地域でも多くの遺跡が発見され、縄文時代の人々の気配を感じられる場所が点在している。

## 自然や社会と共生する意識

現代の私たちと同じ分類となる現生人類（ホモ・サピエンス）が進化したのは約20万年前といわれ、そこから数万年前までを旧石器時代という。地球は寒冷で、大陸と陸続きだった日本列島にナウマンゾウやオオツノジカなどの大型動物が生息していた時代。石を加工して槍などの道具を作り獲物を追って移住していたが、地球が温暖になると定住化が始まる。竪穴住居を構え、粘土を捏ねて野焼きした縄文土器を作り出した縄文時代の始まりである。世界的に見ると農耕や牧畜が広がっているが、海によって切り離された日本列島の人々は、自然の恩恵を受け取る狩猟採集によって生き続けた。その期間は約1万6千年前から約3千年前までの実に1万3千年ほど。長大で安定した争

いのない時代、自然に適應した自給自足の暮らしや社会構造が、持続可能な社会を模索する私たちに与える気づきは大きい。

縄文時代の特徴は、土器を作り煮炊きに使用していたこと、小型動物を狩猟するために発明した弓矢の使用などが挙げられる。5、6棟の竪穴住居が集落を形成していることが多く、その地域の生態系に応じてそこに住むことができる最大人数の集落になっていたとみられる。長井市の長者屋敷遺跡や白鷹町の八幡台遺跡のように、台地上で川が近い場所が好まれた傾向があるが、高畠町押出遺跡のように湿地帯に集落があった例もある。集落はそれぞれ独立しているものの、物資の交換は広域で行われていて他集落への協力関係もあったと考えられる。うきたむ風土記の丘考古資料館館長の渋谷孝雄氏は「集落があまり大きくなると、広範囲の移動が必要になるので最小単位だったのだと思います。何かを減らすということがなかった時代。自然や人や社会と共生する意識は、縄文時代の最大の特徴といえるでしょう」と語る。

P04：飯豊町萩生地区にある萩生石箱遺跡  
P05 上段右：石材の種類も大きさも様々な石簾（矢尻）  
上段左：煮炊きに使用されていた土器  
下段右：木の実を料理する石器  
下段左：「戦争はない時代でしたが、食料獲得のためには大変な苦勞をしていたはず」（渋谷館長）





右上：長井市役所観光文化交流課文化交流室主任、海藤元氏  
 右下：長者屋敷遺跡の4本柱を建設したイメージ模型  
 左：縄文の衣装に身を包む古代の丘資料館館長、孫田良一氏

長者屋敷遺跡で復元された竪穴住居は4棟。



## 縄文に根差す精神世界

縄文時代の遺跡からたびたび発見されるものの一つに柱を建てた遺構がある。煮炊きや建築の跡が見られない柱列の遺構は、青森県の三内丸山遺跡、石川県の真脇遺跡などで見つかっている。長井市の長者屋敷遺跡からは、1998（平成10）年に4本の柱跡が発見された。この4本柱跡に位置して冬至の日没を観測すると4本柱の対角線の延長方向に太陽が沈み、春分・秋分の時期に日の出を観測すると柱列の中央部から太陽が昇る現象が見られた。長井市観光文化交流課で埋蔵文化財を担当する海藤元氏は、この4本柱に縄文人の精神世界を垣間見るといふ。「当時とは天体の動きが違う部分もあるかと思いますが、東側の柱の影が西側の柱の影と重なるという現象を特別に感じ、ハレの日として人々が集まったりした可能性はあると思います。太陽に対して特別な思いがあったのかもしれない」。

縄文時代の遺物として見られるのが石槍、石鏃などの狩猟用の道具、調理用の石臼や煮炊き用の土器である。これら日常生活に不可欠なものを「第一の道具（※1）」と呼ぶ。それとは対照的に用途不明の「第二の道具（※2）」が多く出土しているのも縄文時代の特徴である。女性の体を思わせる造形の土偶、男性器を象った石棒、石冠などで、子孫繁栄や健康への願いが込められているのではないかと推量されている。機能が容易にわかる「第一の道具」は温暖期でもっとも人口が増えた縄文中期のものが多いのに比べ、「第二の道具」は寒冷期に入り人口が減少した縄文晩期のものが多い。海藤氏は「縄文時代の人々は日々の暮らしが困難になるにつれて目に見えない精神世界の充実を図り、集団の結束を獲得しようとしたのかもしれない」と、見解を示した。

※1 ※2 考古学者で國學院大學文学部名誉教授の小林達雄氏が提唱。  
 出典：小林達雄編（1988）『縄文人の道具（古代史復元3）』講談社

正方形に位置する、長者屋敷遺跡の4本柱。





## 置賜地域の資料館・遺跡

アルカディア地域には旧石器時代から縄文時代、弥生時代、古墳時代の遺跡が数多く存在します。

縄文時代草創期～早期／大野平遺跡（南陽市）、前期～晩期／長者屋敷遺跡・宮遺跡（長井市）、八幡台遺跡・石那田遺跡（白鷹町）、町下遺跡（飯豊町）、谷地遺跡・下野遺跡・墓窪遺跡（小国町）。

また、古代の丘考古資料館（長井市）、熊野大社考古館（南陽市）、飯豊町町民総合センター「あ～す」（飯豊町）、おぐに開発総合センター（小国町）では考古資料の展示を行っており地域から出土した遺物を実際に見ることができます。詳細は各施設へお問い合わせください。



（山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館より）

## MAP &amp; INFORMATION

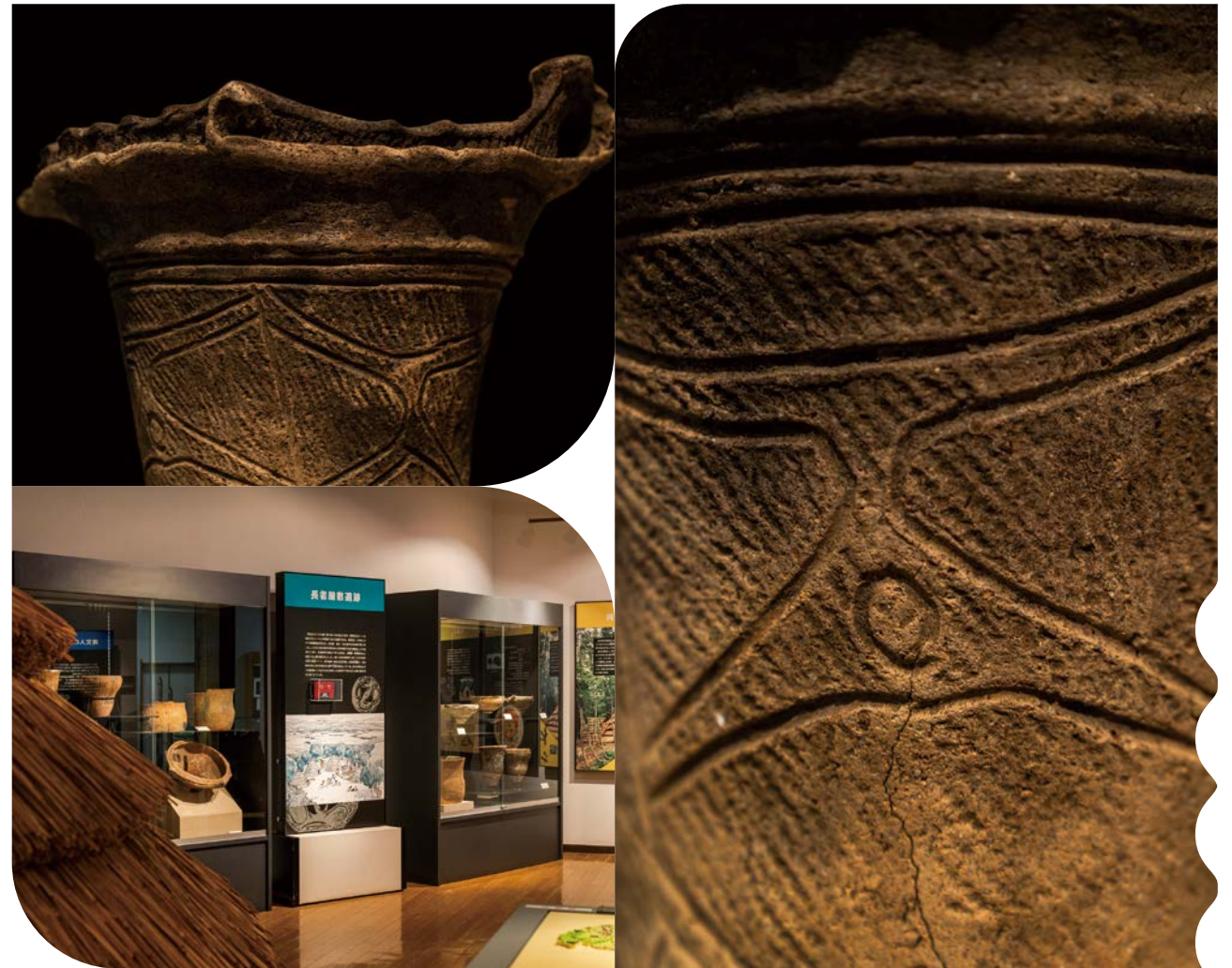
## 長井市古代の丘資料館

〒993-0063 山形県長井市草岡 2768-1  
Tel 0238-88-9978 開館時間/9:00～16:00  
休館日/月曜（祝日の場合翌日休み）  
入館料/無料（企画展会期中は100円）



## 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

〒992-0302 山形県東置賜郡高畠町大字安久津 2117  
Tel 0238-52-2585 開館時間/9:00～17:00（入館は16:30まで）  
休館日/月曜・祝日（こどもの日・文化の日を除く、年末年始）  
入館料/200円、大学生：100円、高校生以下



## 巡り合い浮かび上がる、縄文

縄文土器には500以上の型式があり、つくられた時期や地域によってその文様や形は様々だ。遺跡ごとに出土した土器を分析することで、その遺跡が営まれた年代や交流があった地域を判別することができる。縄文土器といえば一般的に、独創的な形状の火焰土器が知られているが、簡素な形状のものから複雑な文様のものまで様々に存在する。刻まれた装飾には作り手の創意と人間性が滲む。

途方もなく長い歴史を辿った縄文時代においては、現在の土地区画や歴史区分で特徴をまとめることはできない。浮かび上がるのは、集落ごとに生活に必要な道具を作り、自然に適応した食料採取で定住を可能にした生存戦略と、物理と精神が曖昧に溶け合った縄文的世界像である。ただ、この地で遙か古代に想いを馳せるとき、命をつなぎ、私たちの文化の深層を形成してきた縄文人の息づかいを感じることができるだろう。

右：長井市で出土した波状口縁の土器  
左：約300点の遺物を展示する古代の丘資料館

参考文献／  
芦沢長介・塚本哲人・渡辺信夫・米地文夫（1994）  
『縄文にみる東北のこころ』河北新報社  
宗左近（1992）『日本美：縄文の系譜』新潮社  
戸沢充則（2012）『道具と人類史』新泉社







## MISSION

東洋のアルカディアを子どもたちへ  
私たちは、この地に住む人、働く人、訪れる人とともに、精神的にも経済的にも幸福度の高い地域をつくりあげ、次世代につないでいく。

## VISION

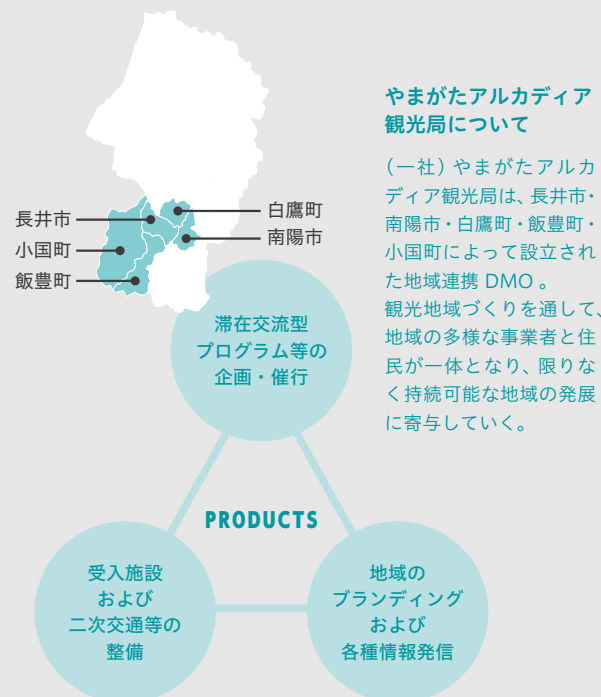
日本最強のローカル

豊かな風土、持続可能なコミュニティ、  
いつでも帰れる、みんなを迎えられる心のふさとやまがた

緑や花に囲まれた、美しい里山風景。人々が行き交い、まちは住まう人の笑顔に包まれ、活気に満ち溢れている。  
住む人、働く人、訪れる人は、「東洋のアルカディア」と呼ばれるこの地に想いを馳せる。  
この地に暮らすことを誇り、100年、はるか先まで続く「日本最強のローカル」を目指す。

## BRAND CONCEPT

やまがたアルカディア～新たな自分に出逢える郷山～



# 食・人・自然 魅力あふれる アルカディア



(一社) やまがたアルカディア観光局  
戦略会議委員 グルメチームリーダー  
飯澤 歩氏

## 豊かな食文化に触れる体験から 地域の魅力を届けたい

地域資源の掘り起こしやアクティビティの開発、プロモーションなどさまざまな分野から持続可能な「東洋のアルカディア」を模索している、やまがたアルカディア観光局(以下、アルカディア観光局)。今回は、長井商工会議所で地域の人々と関わりながら、グルメチームのリーダーを担当し地域の「食」の情報発信をしている飯澤歩さんにお話を伺いました。

―グルメチームの活動内容を教えてください。

月に1回、チームでランチミーティングを行い、アルカディア地域の飲食店の情報を共有しています。Googleや食ブログなど口コミサイトへの投稿、個人のSNSを使用した情報発信もメンバーが積極的にこなしていますね。また、地域の食材を使用したイベントの企画、運営などもしています。これまでに開催したのは、長井市の古代の丘縄文村、南陽市十分一山でのグランピング。すばらしいローケーションで、アルカディア観光局のプ

ロジェクトの一つであるOMIKIに合わせた、地域の伝統食材を使ったおいしいお料理を味わいました。参加者からはとても好評で「またやって欲しい」という声を何度もいただきました。

―食を通してアルカディア地域のファンを増やしているんですね。

はい。アルカディア地域のおせち料理と一緒に作るオンラインツアーには全国から応募がありました。特に「ひょう干し」を使った料理はやはりめずらしかったようで、リモートでつないだ参加者の興味関心が高ったですね。食の魅力の発信は、町のお店や個人の努力次第になることが多く、そういったことが得意でない方がまだまだ多いです。そこを私たちが手助けして盛り上げていけたら、と思っています。

―アルカディア観光局として動くことで変化した部分はありますか？

個人の変化としては、いろいろな分野の方



## PROFILE

飯澤 歩 (いざわ・あゆむ) 長井商工会議所総務課勤務。2020年から戦略会議メンバーに。幼い頃から慣れ親しんだ古代の丘は今でもお気に入りの場所。社会人になってからは、ゆっくりと時間が流れる感覚を求め週末ごとに足を運ぶ。趣味はソロキャンプ。

と交流する機会が増えたことが良い経験になっていると感じています。私は長井市の出身で、生まれ育ったこの地域が活気づき盛り上がり上がっていくために仕事をしたいと思う商工会議所に入りました。アルカディア観光局の一員となることで、20年、30年先のビジョンを持ち、以前よりさらにワクワクしながら仕事に取り組めるようになりましたね。

―今後やってみたいことは？

食と人と自然について、高いポテンシャルを持つ地域だということを実感しています。美しい紅花畑や水没林を見ながら食文化に触れられるイベントを是非やってみたいですね。地域の方々が誇りを持って暮らせる場所、いろいろな人に紹介したくなるアルカディア地域をもっとアピールし、多くの人が交流できる機会をつくっていききたいです。

## ライク・ア・バードokitamaプロジェクト

“旅のその先へ。”

イザベラ・バードのように、軽やかな1羽の鳥のように、

英国人女性旅行作家のイザベラ・バードが「東洋のアルカディア(桃源郷)」と賞賛した山形県・置賜地方を舞台に、「現代のイザベラ・バード」と呼びたいような女性たちが訪れます。そんな旅の様子を収めた短編動画シリーズ「やまがたアルカディア観光局 presents ライク・ア・バードokitama」。

長井編・南陽編・白鷹編・飯豊編・小国編すべての動画が公開となりました。動画に出演する女性のみなさんの紹介や動画本編は、やまがたアルカディア観光局関係案内所HPからご覧いただけます。





# 大宮子易両神社

命を与え生み出し  
育む産霊の力  
信仰の源



P14 生命を繁栄させる神力を表すように縁に囲まれた大宮子易両神社。P15 1: 小国町指定文化財となっている狛犬。室町時代の作と伝わる。2: 参拝講の様子を描いた絵画が奉納されている。3: 大木の虚の奥に鎮座する神様。4: 地域の人々に「金閨さん」と呼ばれる子育ての神様が座すお社。5: 自然に目を向け、気づきを得る大切さを語る遠藤宮司。



## INFORMATION

大宮子易両神社  
〒999-1342 山形県西置賜郡小国町大宮 237  
TEL : 0238-62-2347  
受付時間 9:00~16:00  
<https://oomiya-koyasu.or.jp/index.html>



「神道はもとも、大きな木や岩そのものに神性をみる自然崇拜から生まれています。ありとあらゆるところに神様がいて、それを大切にしなければならぬと思う日本人の心、精神の根本にあるのが神道。宮司は神事を執り行うだけでなく、そういった心の部分を伝統として伝えていかなければなりません」と語る。植物に触れる毎日の営みが自然な世界への理解を深め、共にある命の有り難さを感じるという。現在は、かつて参拝客の散策路となっていた緑豊かな「ささやきの小道」を復活させたいという願いを持ち整備に意欲を見せている。

「神社は地域の人々に祀られ、守られて今の姿があります。また、遠方から参拝にいらっしゃる方もいます。来られた方が心を寄せ続ける神社であるために、先人が守ってきたことを大切に受け継ぎながら、新しいことも楽しんで取り入れていきたいです」。ふと足を運べば、いつでも心に安らかな静寂と普遍的な命脈が感じられる大宮子易両神社。命をつなぐ人々の心の拠り所である。

広い境内は豊かな緑に囲まれ、さまざまな樹木が葉を繁らせている。手入れを行なっているのは遠藤成晃宮司。先代から神社を引き継いで以来、創建1300年の歴史と信仰の重みを感じ、大宮子易両神社が守り継いできたものを後世に伝えることを使命としている。

自然に心を寄せ、生命を慈しむ

神社は県道267号線に面していて、国道113号線が開通する前まではここが新潟と山形をつなぐ道であった。そのため新潟県からの参拝客が多く、参拝、祭事などの行事を集団で行う「講」は置賜地域、山形県庄内地方のほか、新潟県下越地方にも広く存在。各地域で大宮子易両神社を合祀している神社も多く見られる。交通の発展や暮らしの変化に伴い集団での参拝は減少したが、身籠ったときには安産祈願に訪れるという歴史と風習が「講」を通じて今も語り継がれている。

小国町大宮地区で古くから信仰を集めてきた大宮子易両神社。奈良時代の和銅5(712)年、遠江の国(現在の静岡県)小国神社から「大宮神社」を勧請された神社である。その後、小国町二宮原地区にある「子易神社」と合祀され、「大宮子易両神社」となった。お祀りしているのは、大宮神社は大己貴命、子易神社は木花開耶姫命、国常立尊、高皇産霊尊、神皇産霊尊の五柱。命を与え、生み出し、育む産霊の力を持つ神様であることから、子授け、安産、子育てのご利益があるとされている。

信仰を集める、産霊の力



### 縄文そばの館

自然で自由な  
縄文を味わう

古代の丘資料館に隣接する「縄文そばの館」。その名の通り、無農薬、無化学肥料の自然栽培で自給自足が普通だった縄文時代に寄せて、店内の食材や調味料、食器に至るまで全て手づくりのものを使用し自給率100%を目指しているお店です。

そばは、有機農法で栽培された『出羽かおり』を石臼で挽き、縄文時代に食料とされていたドングリや麻の実の粉末などを合わせたもの。天然の猪肉と鹿肉が入った人気メニュー「縄文猪鹿蕎麦」を、縄模様をついた土器と柳を磨いて作った箸でいただければ、気分はもう縄文。現在は、みそやしょうゆを大豆からつくる取り組みも始めていて、その価値に賛同する地域の人々と共に、自給率向上に努めています。

縄文そばの館  
〒993-0063  
山形県長井市草岡2768-1  
Tel / 080-6679-2974  
営業時間 / 11:30～15:00 (LO.14:30)  
定休日 / 月～金曜、  
冬季間 (12月～3月)



### 大宮子易両神社

願いを届ける  
変わらぬ風習

古くから子授かり、安産、子育て、縁結びの神として広く信仰を集めてきた大宮子易両神社。遠藤宮司によると「産霊」の力のご利益を授かるためには、御祈禱する本人が参拝に来て御祈禱する姿勢を神様に示すことが必要だといいます。お参りの際に安産枕を1つ神様からお借りし、出産後に新たな枕をお返しする「安産枕」の風習、安産祈願で授与される護符などの品はお礼参りの際に返納することが大切です。

神社で授かることができる、子授け・安産祈願のお守りは3種類。特殊な御神体が入っている和合宮の子授けお守り(写真/右下)、枕の下に置いておく大宮神社の子授けお守り(写真/中)、安山岩を砕いて中に入れた祈念石のお守り(写真/左)があります。

大宮子易両神社  
〒999-1342  
山形県西置賜郡小国町大宮237  
Tel / 0238-62-2347  
受付時間 / 9:00～16:00  
<https://oomiya-koyasu.or.jp/index.html>





## S P O T

— 東洋のアルカディア —  
歴史・文化を探訪

古の人々の暮らしと祈り  
縄文と精神文化の  
世界に触れる

本誌で特集した縄文時代の文化が感じられる施設と、  
大宮子易両神社についてご紹介します。  
是非、置賜地域の奥底に流れる歴史と文化を  
ご体感ください。

臨時休業中や営業時間変更の場合があります。お出かけの際は各店舗にお問い合わせください。

### 古代の丘資料館

古代の空気を  
まるごと体験

長井市内の小高い場所にある「古代の丘資料館」には、縄文時代当時の生活を紹介するパネルや、長井市史跡として指定されている長者屋敷遺跡を中心とした、市内の遺跡からの出土品が数多く展示されています。付近には、西山山麓で発見された、縄文時代中期(約4千年前・長者屋敷遺跡)の住居跡を復元した竪穴住居や、土偶を拡大・復元した土偶広場があり、当時の人々の暮らしに想像力が掻き立てられます。

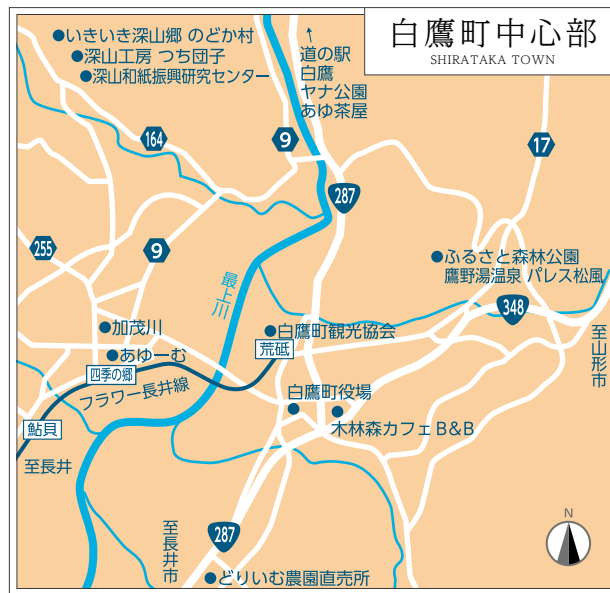
また、館内では縄文時代の人々が作り身につけていた装身具の一つ「勾玉」や、縄文土器づくり、火起こし体験、縄文時代から編まれていたという「アンギン編み」体験も可能。恵まれたロケーションで、現代の生活を離れ時間がゆっくりと流れるような感覚が味わえるはず。

古代の丘資料館  
〒993-0063  
山形県長井市草岡2768-1  
Tel / 0238-88-9978  
開館時間 / 9:00～16:00  
休館日 / 月曜(祝日の場合翌日休み)  
入館料 / 無料  
※体験教室は事前にご予約ください





## 市街地エリアMAP



arcadia 季刊誌アルカディア

#12 2022年8月発行(年4回発行)

発行／一般社団法人やまがたアルカディア観光局  
 編集／株式会社やまがたアルカディア編集社  
 写真／船山裕紀、佐藤俊介  
 文章／上林 見子  
 デザイン／坂井理枝子

next #13  
 AUTUMN issue

特集1\_戦国時代とアルカディア  
 特集2\_置賜三十三観音

1 表紙：長井市草岡  
 古代の丘資料館  
 撮影 date：2022年6月  
 17日 午後1時30分頃



2 P04：飯豊町萩生  
 萩生足箱遺跡  
 撮影 date：2022年6月  
 17日 午後3時頃



3 P05：高畠町安久津 うき  
 たむ風土記の丘考古資料館  
 撮影 date：2022年6月  
 24日 午前11時40分頃



4 P07：長井市草岡  
 長者屋敷遺跡  
 撮影 date：2020年10  
 月12日 午前11時頃



5 P10-11：白鷹町中山  
 大紅花畑  
 撮影 date：2022年7月  
 20日 午前6時30分頃



6 P12：長井市草岡  
 古代の丘土偶広場  
 撮影 date：2022年7月  
 7日 午後3時30分頃



7 P14：小国町大宮  
 大宮子易両神社  
 撮影 date：2020年6月  
 25日 午後1時30分頃

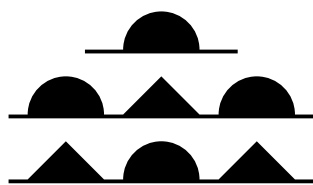


8 裏表紙：小国町小玉川  
 天狗橋  
 撮影 date：2021年5月  
 31日 午後12時30分



本誌に掲載されている  
 写真の場所に行ってみませんか？  
 そしてすこしの間だけスマホをしまつて  
 イザベラ・バードが感じた  
 美しい風景を眺めてみてください。





やまがた  
アルカディア  
観光局

YAMAGATA  
ARCADIA  
Tourism Bureau

